

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター
設立記念シンポジウム

文化遺産でつなぐ人文知

—京都からユーラシア世界へ、原始から未来へ—

京都大学大学院文学研究科は、本年4月に文化財総合研究センターを研究科附属ユーラシア文化研究センターに再編・統合し「文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター」

(CESCHI/セッシ)を設立しました。

新センターは、文化遺産学研究施設と人文知連携拠点から構成し、文学研究科がこれまで培ってきた豊穡な人文学諸分野を横断・総合する研究を推進するとともに、その成果を組織的に発信するための取り組みをこれまで以上に推進していきます。

このたび、本センターの設立を記念し、シンポジウムを開催させていただくことになりました。多くの方々のご参加をお待ちしております。

令和元年

9月13日(金)

13時30分～17時

参加費無料・申込不要

文学部校舎第3講義室

(京都大学本部構内)

第一部 提題

- 1 羽田亨の夢を追って—京大文学部内陸アジア学の軌跡—
吉田 豊 (文学研究科教授/文化遺産学研究施設)
- 2 京都大学構内を発掘する
吉川 真司 (文化遺産学研究施設長)
- 3 文化遺産学の新たな展開
吉井 秀夫 (センター長/文学研究科副研究科長)
- 4 人文知の新たな連携を目指して
松田 素二 (人文知連携拠点長/文学研究科副研究科長)



第二部 パネルディスカッション

「人文知の未来に向けて」

- 出口 康夫 (文学研究科教授/人社未来形発信ユニット長)
吉井 秀夫・松田 素二

主催 京都大学大学院文学研究科



共催 京都大学人社未来形発信ユニット



お問い合わせ 文学研究科総務掛 soumu@bun.kyoto-u.ac.jp